# 2019年(第18次) 樹勢調査結果 速報

2019年9月 名勝小金井桜の会 事務局

#### 始めに

本年も2002年(平成14年)の第1回調査以来18回目となる、名勝小金井桜の毎木樹勢調査を実施しま した。
今回も予算の関係から、協力をいただいて来た「東京樹木医プロジェクト」の樹木医の方々の参加は なく、桜の会会員のみで例年と同様の調査法で実施しました。

詳細の調査データは当会のホームページに掲載します。 調査概要をここに速報版として作成しました。

### 1 調査日と調査メンバー;

(アンダーラインはブロックリーダ)

第1ブロック:8月21日 小沼廣和、杉本和子、風間裕一 三宅章

小沼廣和、小林由美、杉本和子 第2ブロック:8月24日 岩間博昭、村山秀貴、本橋一夫 第3ブロック:8月17日 第4ブロック:8月17日 小沼廣和、風間裕一、杉本和子 第5ブロック:8月24日

植竹隆夫、本橋一夫、渡辺ふき子

合計 16名

**2 調査方法**; 昨年と同じ(東京樹木医プロジェクト指定の調査票にて評価)

#### 3 調査結果の概要:

ブロ	2018			2019	評価ラン	ンク							
ック	1	2	3	4	計		1	2	Ω	4	計	本年枯死	備考
97	状況が		状況が良い ⇔ 状況が悪い										
1	0	4	101	7	112		0	4	88	18	110	#147、 #152,#1002, #1003-1	枯死寸前 #102,#167,#16 9,#177,#178,#1 000-,#10001- 1,#1004,#1000 6,#1010
2	16	60	67	1	144		26	82	35	2	145		枯死寸前 #211,#226, #869
3	105	33	0	0	138		107	39	9	0	155	#287,#836	枯死寸前 #KS43,#770, #777
4	123	40	19	20	202		89	17	76	7	189	#658,#667, #707,#714, #720,#722,	枯死寸前 #356,#357, #358,#376
5	46	22	39	18	125		44	17	44	17	122	#599,#645	枯死寸前 #424,#444,#61 0,#631,#738
合計	290	159	226	46	721		266	159	251	44	721		
比率	46.2	22.1	31.3	6.4	100		36.9	22.1	34.9	6.1	100		

%							

詳細データは「名勝小金井桜の会ホームページ」を参照してください。 URL: http://koganeizakura.com

### 4 調査参加者の感想・コメント;

#### \*第1ブロック:

今回の重要目的の一つ「クビアカツヤカミキリ」発生の有無に目を光らせて一本一本観察をして進めましたがそれらしきものは見つかりませんでした。二、三似たものを目にして全員でよくよく見ると蟻の巣だったことがありました。(虫の害について)

登録された古木の3分の1は絶えて、残っている大樹も上水内の雑木の影となり樹木の形も枝の生育も 鑑賞に堪えるものはない。(杉本和子)

名勝桜に残るかなりの桜の大木に感動しました。貫井橋>周辺には野生のミョウガが育っていました。 桜の幹に沢山の枝が多く、剪定が必要と思いました。(風間裕一)

杉本、三宅、風間



## \*第2ブロック:

今回の重要目的の一つ「クビアカツヤカミキリ」発生の有無に目を光らせて一本一本観察をして進めましたがそれらしきものは見つかりませんでした。(虫の害について)

大樹は枯死を待つばかりの有様、若木は雑木に囲まれて名勝の名を継ぐまで育つのか疑問。 柵の中の若木の世話も市民参加の手入れが出来るような工夫が考えられると良いのですが。(杉本和子)

小林、杉本



## <u>\*第3ブロック:</u>

今回の調査で個人的に注目していたのは、「クビアカツヤカミキリ」発生の有無と捕植した若い苗木の生育状況を把握することでした。

幸い、クビアカツヤカミキリは発生していないようでしたが、コスカシバ被害やキノコ被害は例年並みに発生していました。一方で葉の食害は例年よりも少なかったように思います。

また、多少のバラつきはあったものの、捕植された苗木の周囲 50 cm以内の下草を刈り取ってもらっているおかげで、酷暑による水不足の影響で元気のない葉が見られたものの、比較的、ツル草が巻き付いた苗木は少なく、

元気に根付いているようでした。リストに掲載されていない苗木も多く、まだまだ管理体制に問題はあるものの、 一本でも多く順調に育ってほしいと願います。

そして、来年の調査は、開始時間を 1 時間早くし朝 8:00 スタートするか、調査時期を 1 月早めて 7 月にする、などの熱中症対策を検討すべきではないでしょうか。ご検討ください。(村山秀貴)

村山 岩間、本橋





### 第4ブロック:

今回の重要目的の一つ「クビアカツヤカミキリ」発生の有無に目を光らせて一本一本観察をして進めましたがそれらしきものは見つかりませんでした。(虫の害について)

ー割以上の樹木が枯死寸前で代わりに若木が植えられているにしても、若木の周辺は手入れが行き届かず 雑草で生育環境が悪い。(杉本和子)

雷が桜の木に当たり、電流が流れた黒焦げた筋が残っているにも関わらず、しっかりと桜は成長していました。水道局内の敷地にある桜の周りの雑草が業者に刈り取られずにあり、必ず作業後の確認も必要とおもいました。桜の枝が五日市街道に張り出し、伐採が大変と思いました。(風間裕一)

杉本、風間



#### 第5ブロック:

午前9時に関野橋に集合してクビアカツヤカミキリの被害の有無等今年の調査ポイントを確認して、左岸を下流に向かって調査を開始し、梶野橋下流の横断歩道橋で右岸にわたり引き返して関野橋に戻り、午前11時10分頃調査を終了した。

この第5ブロックは平成26~28年度の3年間、小金井市主導での小金井桜復活事業として関野橋~梶野橋間のヤマザクラ苗木補植と周囲の雑木伐採が行われた区間(武蔵野市域を含む)であり、この間に我々の会が育てた苗木が計46本植樹された訳であるが、今年も全ての若木が枯れることなく概ね順調に生育していることが確認できたことは嬉しいことであった一特に一昨年、梅雨時の水不足で葉が萎れ枯死寸前だった KS30(H29.3 月植樹)についても、順調に回復。但し後遺症で主幹上部が枯れており剪定等のケアが必要。

しかしながら苗木植樹の際に伐採された雑木は再び繁茂して、関野橋から下流を望むと上水の水面が見えないのは勿論のこと、植樹された桜並木も何処にあるのか判らないような酷い状態で、調査員全員「これはヒドいねえ!!」と管理不足に思わず怒りのことばが出た。

以下に調査で気づいた点を列挙する。

- 1. 今年の重点調査ポイントであるクビアカツヤカミキリの被害については、幸いなことに兆候は確認できなかった。
- 2. 既存樹については、新たな枯死木が3本(左岸1本、右岸2本)確認された。 このうち左岸の#444 については、枯死寸前でまだ完全に枯死ではないものの、道路へ張り出し状況から台風等考慮して「危険要伐採」と判断した。早期の対応を望む。
- 3. 上述の平成 26 年度以降植樹した若木のうち、幹がかなり太くなって植樹時の支柱が幹を圧迫しているものが数本出てきている。 圧迫していないまでももう支柱は不要と思われるものもかなりあり、支柱撤去の対応が必要である。 またヒコバエがかなり出てきている若木も多く、ケアが望まれる。



関野橋下流の雑木繁茂の状況と調査員の本橋さん渡辺さん

以上